

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和4年度分）

施設名	義肢製作所	所管課	健康福祉部障害政策課
指定管理者名	(社福)群馬県社会福祉事業団	指定期間	5年
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし		R4.4.1 ~ R9.3.31

※利用料金制とは施設の利用に係る料金を指定管理者の収入として收受させる制度。「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設

1 施設の概要

施設所在地	前橋市新前橋町13番地の12(群馬県社会福祉総合センター2階)
指定管理業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者の補装具の製作及び修理に関する業務 ・身体障害者の補装具に関する相談及び指導に関する業務 ・その他義肢製作所の設置の目的を達成するために必要な業務

2 職員の状況（令和4年4月現在）※主に指定管理業務に従事する職員数

通常(フルタイム)の職員:	4人		
短時間雇用の職員:	3人	合計:	7人

3 収支の状況（令和4年度決算額）

収 入		支 出	
指定管理料	10,330,000	人件費	18,810,400
利用料収入	31,230,660	事業費(消耗品費等)	19,813,624
その他(受託料収入)	1,226,000	事務費(通信運搬費等)	1,316,970
その他(雑収入)	44,734		
収入合計	42,831,394	支出合計	39,940,994

※指定管理者の指定管理業務等及び自主事業に係る収支を記入(指定管理者団体全体の収支ではない。)

4 利用の状況

	令和4年度(実績)	(参考)令和3年度(実績)	(参考)令和2年度(実績)
①年間利用者数(人)	417	433	477
②使用料収入(円) (県納付額)	-	-	-
③利用料収入(円) (指定管理者收受額)	31,230,660	26,444,576	31,257,928

5 施設における実施事業の状況

事業・イベント名	開催日	参加者数	内容	参加者の感想等
巡回相談事業	7月13日 3月8日	延べ 4人	県内各地域の会場に向き、補装具の修理・相談・採型等を行った。	県立の補装具製作施設として、難病や重度障害者や高齢者に対して、近・遠距離を問わず自宅に訪問するなどきめ細かな出張訪問を行い、利用者の要望に寄り添った対応を行っている。
訪問事業	461回	延べ 503人	在宅の方の自宅やリハビリセンター等を訪問し、補装具の修理・相談・採型等を行った。	

重度障害者用意思 伝達装置貸出事業	—	相談 227件 貸出 109件	意思伝達装置に関する 相談、意思伝達装置の貸 し出しを行った。	難病支援において、迅速 に自宅・病院・施設等に訪 問し、相談・貸出を行い、 継続的な支援を行っている。
民間等への研修開 催	6月7日 8月23日	年間 2回	県内の補装具製作者 等を対象とした補装具研修 会を開催した。	コミュニケーション支援の 研修として、意思伝達装置 の基礎知識の普及や適切 な対応等の研修を行った。

6 利用者満足度調査等の結果及び対応状況

(実施期間)

令和4年4月～令和5年3月

(実施方法・回収率等)

利用者が来所した際に記入又は訪問時に回答依頼し記入 ・回答者 89人

(項目別回答集計)

○群馬県立義肢製作所を選んだ動機

・以前から 68.5% ・初めて 18.0% ・無回答 13.5%

○動機別

・市町村からの紹介 51.7% ・知人の紹介 4.5% ・自分で調べて 7.8% ・その他 22.5%

・無回答 13.5%

○群馬県立義肢製作所の満足度

・非常に満足 52.8% ・満足 30.3% ・普通 3.4% ・不満 0% ・非常に不満 0%

・無回答 13.5%

(利用者からの意見等)

- ・いつも気遣ってもらい感謝しています。
- ・家まで来てくれるので助かっています。
- ・丁寧に対応していただきました。
- ・仕事をしているので、土曜日にいつも来ています。

(調査結果分析)

- ・8割以上の利用者は群馬県立義肢製作所の製品や対応に満足していると考えられる。
- ・高齢化やコロナウィルスの影響で訪問希望の増加が続いている。

(調査結果への対応状況)

利用者が安心して利用できるように、施設環境や業務内容を都度検討し、また電話連絡を定期的に行って
担当者とのコミュニケーションを図り、利用者が信頼できる事業所であり続けるように心掛けた。

(その他苦情・要望等及びその対応状況)

苦情なし。利用者が要望を伝えやすい雰囲気作りを心掛けている。

7 管理運営状況の評価 (A:優良、B:良好、C:要努力、D:要改善)

評価項目	総合評価	評価の考え方	評価できる事項及び改善すべき課題
総合評価	A	おおむね事業計画、仕様書などおりの成果・実績があり、かつ、施設の設置目的及び指定管理業務の目的達成に向けて、継続して努力をしている。また、利用者満足度調査の結果から、利用者から高い満足度を得ていることがわかる。	<p><評価できる事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回の土曜日開館の継続等、利用者の利便性向上に努めており、満足度調査から利用者への親切丁寧な接客が伺える。 ・令和4年度より関係機関を対象に研修会を開催し、意思伝達装置を始めとした補装具の普及、啓発に努めている。 ・コロナ禍以降下降し続けていた収入額が初めて回復した。 ・難病や重度障害者などの来所困難者への訪問など、利用者の状況に配慮して相談対応を行っている。 <p><改善すべき課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者スペースの拡大について、改善を促したい。

(個別項目ごとの評価)

評価項目	評価
平等利用の確保	A
サービスの提供内容	A
管理費用の執行状況	A
管理運営体制	B
法令遵守等	A
労働条件評価の実施	無

評価項目	評価
利用者対応	A
地域貢献	A
環境問題への取組	A
防災対策及び緊急時の対応	A
個人情報保護及び情報公開	A

(参考) 指定管理者の自己評価及び評価委員会の年度評価結果

	総合評価	評価の考え方
指定管理者の自己評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルスの影響で受注件数の減少が続いていたが、新しいパンフレットの作成や、意思伝達装置講習会の開催、オリヒメロボット体験事業の委託、eスポーツ事業のイベントに協力する等義肢製作所のPR活動を行い、更なる広報の充実に努めた。 ・新型コロナウイルスの影響から、利用者が来所しにくい状況のため、補装具の状況や具合等の電話連絡を行った。 ・毎日定時に清掃や整理整頓を行い、定期的に棚等の収納を見直し整理整頓や収納の工夫を行い、スペース確保を心掛けた。
評価委員会の年度評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画、仕様書等の内容を一部下回っているが、概ね良好な運営状況であり、サービス向上のための取組や課題等の改善を積極的に行っている。 ・目標設定と事後評価をしっかりと行っている。職員間の情報共有が行き届いており、仕事に対する意識が高い。 ・地道に利用者に寄り添い、創意工夫されている。 ・もう少し広く、利用者のスペース確保ができるとよい。